

**切除不能/再発
肝細胞癌**

アテゾリズマブ+ベバシズマブ療法レジメン

切除不能/再発 肝細胞癌 アテゾリズマブ+ベバシズマブ レジメン
A-11 < 21 日間隔・ PDまで >

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4~7日目	第8~21日目	第22日目
治療内容							
検査	採血	○					○
	胸部X線	○					○
	食道静脈瘤の有無確認および治療						
診療	副作用の問診	○					○
	検査結果	○					○
治療中止基準	①G2以上の肺臓炎 ②副腎クリーゼの疑い ③G3以上の皮膚障害・神経障害 ④AST、ALT>10×ULN (開始時が正常値の場合は3×ULNで休薬) ⑤T-Bil>3×ULN ⑥G2以上の下痢 ⑦甲状腺機能障害の疑い ⑧自己免疫疾患の発症疑い ⑨2.5mL以上の鮮血の喀血 ⑩Grade2・3の肺出血/喀血 ⑪G2以上の高血圧(ベバシズマブ休薬)	—	—	—	—	—	—
点滴	① 生食 50ml 点滴静注【全開】	↓					↓
	②生理食塩250ml +テセントリク 1200mg 点滴静注 【初回60分,以降30分】 フィルター付きルートで	↓					↓
	③ 生食 50ml 点滴静注【全開】	↓					↓
	④生理食塩液 100ml +アバスチン15mg/kg 点滴静注 【初回90分,次回60分,以降30分】	↓					↓
	⑤ 生食 50ml 点滴静注【全開】	↓					↓

看護のPoint!!

免疫調節薬であるので、免疫関連の副作用が起こる

Infusion reactionに注意

主な副作用は皮膚障害、甲状腺機能低下、下痢、間質性肺炎

下痢の時はステロイドを使用(止痢剤ではない。大腸炎のため)